

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域活性化イベント開催事業		担当課	久々野支所 基礎産業課		内線	3531	
予算	会計	1	一般会計	特別予算の 位置付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
	目	1	観光振興費		D	その他事業			
根拠計画	地域振興計画								
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺自然环境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・久々野地域住民が主体となって、地域のさらなる活性化・発展を図るイベントを開催し、高山市内外からの誘客を図る。		
	事業の実施手法(手段)	・ひだ桃源郷くぐの観光協会が事務局となり、地域住民を中心に実行委員会を構成し各イベントを開催する。(ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会、ふるさとくぐの会四季のつどい、アルコピアひまわり園、ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り、ひだ桃源郷収穫劇場、アルコピアスノーカーニバル)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会 ・アルコピアひまわり園 ・ひだ桃源郷収穫劇場 		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとくぐの会四季のつどい ・ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り ・アルコピアスノーカーニバル 																																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">イベント開催数</td> <td>目標値</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">イベント開催数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>21,000</td> <td>22,000</td> <td>22,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">イベント総来場者数</td> <td>実績値</td> <td>17,706</td> <td>20,707</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td>84</td> <td>94</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">イベント総来場者数</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	イベント開催数	目標値	7	6	6	実績値	7	6	-	算出根拠等	イベント開催数	達成率(%)	100	100	-	目標値	21,000	22,000	22,000	活動指標	イベント総来場者数	実績値	17,706	20,707	-	達成率(%)	84	94	-	算出根拠等	イベント総来場者数	目標値				実績値				算出根拠等		達成率(%)				目標値				算出根拠等		実績値				達成率(%)				算出根拠等		目標値				実績値				算出根拠等		達成率(%)				目標値				算出根拠等		実績値				達成率(%)			
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																
	活動指標	イベント開催数	目標値	7	6	6																																																																																																
			実績値	7	6	-																																																																																																
	算出根拠等	イベント開催数	達成率(%)	100	100	-																																																																																																
			目標値	21,000	22,000	22,000																																																																																																
	活動指標	イベント総来場者数	実績値	17,706	20,707	-																																																																																																
			達成率(%)	84	94	-																																																																																																
	算出根拠等	イベント総来場者数	目標値																																																																																																			
			実績値																																																																																																			
	算出根拠等		達成率(%)																																																																																																			
			目標値																																																																																																			
	算出根拠等		実績値																																																																																																			
			達成率(%)																																																																																																			
算出根拠等		目標値																																																																																																				
		実績値																																																																																																				
算出根拠等		達成率(%)																																																																																																				
		目標値																																																																																																				
算出根拠等		実績値																																																																																																				
		達成率(%)																																																																																																				
補足事項																																																																																																						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																	
	歳出(千円)		(A) 10,810	9,993	9,000																																																																																																	
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																					
	一般財源		10,810	9,993	9,000																																																																																																	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 116	108	98																																																																																																		
コスト指標	受益者	(B) 全市民	93,312	92,861	92,097																																																																																																	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・各イベントは久々野地域の特色を生かしたものであり、地域の期待も大きく地域経済活性化に結び付く。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・地域振興特別予算が平成26年度までであるので、段階的に自己負担率を増やし、地域が主体となって自主的に運営できるよう進めて行く。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・開催しているイベントは定着してきており、市内外からの参加者も増加している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・地域の活性化に繋がるよう再検討し、誘客が見込めるよう他の行事と同時に開催するイベントを考えた。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・久々野地域の特色を生かしたイベントを、地域住民が中心となり開催している。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・地域振興特別予算が平成26年度までであるので、段階的に自己負担率を増やし、地域が主体となって自主的に運営できるよう進めて行く。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・久々野地域の活性化のためのイベントであるが、効果を検証しながら必要なイベントは自己負担率を増やし自主運営できるようにする。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・久々野地域の活性化のためのイベントであるが、各種イベントの自己負担率を増やし自主的に運営できるようにする。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (アルコピアスキー大会開催事業)		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3512
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	体育総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺自然环境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・ウインタースポーツ振興による青少年育成、シニアスキーヤー復活・獲得、アルコピアスキー場の活性化		
概要	事業の実施手法(手段)	・小中学生やシニアといった幅広い年齢層を対象にし、技術性の高いスキー大会を開催する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・サロモン杯第30回アルコピアジュニアスキー大会(1月27日) ・HDAD杯第55回アルコピアアルペンスキー大会(2月17日) ・第18回アルコピアスノーボードカップ(2月24日)					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	大会開催数	回	目標値	3	3	3
		算出根拠等		実績値	3	3	-
	成果指標	大会参加者数	人	目標値	450	450	450
		算出根拠等		実績値	357	339	-
	成果指標	地元参加者数	人	目標値	150	150	150
		算出根拠等		実績値	152	152	-
	成果指標	市外参加者数	人	目標値	350	350	200
		算出根拠等		実績値	205	187	-
	算出根拠等			達成率(%)	59	53	-
				目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 800	800	800		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		800	800	800		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 9	9	9			
	受益者	(B) 全市民	93,312	92,861	92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・全国的にスキー人口が減少している中で、市民だけでなく、県内外からの参加者も多くあるのでニーズはある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・スキー大会の運営は実行委員会で行われているので問題はない。 ・スキー場という高山市の冬の観光資源の活用を図る観点からは効果がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・大会開催の実施ばかりでなく、観光資源という面からも、スキー場の入込数や大会参加者の増加を図る必要がある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・大会運営の経費削減につとめ賞品代の見直しを行った。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・スポーツ振興だけでなく観光イベント的な大会として、地域の活性化に効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		6 / 10	→	100点換算 60 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・大会参加者の拡大に向けた新たな展開を検討する必要がある。 ・自主運営できる財源の確保が必要である。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了を見据え、負担金、行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、他のスキー場との関連やスポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・自主事業に向けた財源確保(協賛金等) ・参加者の増加に向けた新たな取り組みの検討
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・スポーツ振興とスキー場の集客戦略として継続する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・各種効果について分析を行い、他のスキー場との関連やスポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3521
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3 民生費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 老人福祉費		D	その他事業	
根拠計画	高山市老人福祉計画					
市長公約	5	医療・福祉を充実させます ・地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	対象者数	9,677 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000
				実績値	9,796	9,584	-
				算出根拠等	達成率(%)	93	96
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139
				実績値	143	139	-
				算出根拠等	達成率(%)	95	97
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40
				実績値	39	38	-
				算出根拠等	達成率(%)	91	95
	活動指標	連合長寿会加入者数/65歳以上人口		目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
	活動指標			目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
活動指標			目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	420	420	420	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			162	150	280	
	一般財源			258	270	140	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	465	462	458		
	受益者	久々野区連合長寿会会員数 (B)	903	910	918		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・高齢者が住み慣れた地域で、他の高齢者や住民と交流を持ちながら健康で日常生活を送るための活動として、市民の関心は高く、地域活動にも根付いているが、高齢者のニーズの多様化により加入率が低下している。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市は、老人福祉法(第十条の三第一項)の規定により、老人クラブなどの老人福祉を増進する目的とする事業を行う者の活動の連携及び調整、地域の実情に応じた体制整備に努めなければならないため。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・老人クラブ加入者は、年々減少傾向であるため、長寿会の組織の見直しや活動内容の充実に取り組んでいる。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・支所地域長寿会事務局の人件費補助として、最小限の経費である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・長寿会活動に参加することにより、高齢者の健康増進と閉じこもり予防が図れた。また、高齢者に多い病気に対する理解を深めることができた。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・新規加入者が少なく、連合長寿会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業		担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	3541
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け 算の	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	道路橋りょう総費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・日常生活における買い物、通勤、通学、通院などの移動手段を確保するため、市民の生活を守る公共交通網を整備します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・未登記路線を整理し、市道の適切な管理を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	・市道未登記箇所の測量を行い、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・未登記となっている5路線の市道の一部について登記業務を委託し、14筆の所有権移転及び目変更					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	所有権移転登記完了筆数	筆	目標値	26	25	10
		実績値			26	14	-
	成果指標	算出根拠等	分筆・所有権移転数 / 目標分筆・所有権移転数	達成率(%)	100	56	-
		所有権移転登記完了筆数	筆	目標値	345	345	345
		算出根拠等	分筆・所有権移転数	実績値	146	157	-
				達成率(%)	42	46	-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			
		算出根拠等		実績値			-
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	4,584	4,982	5,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			4,584	4,982	5,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	49	54	54	
	受益者		(B)	93,312	92,861	92,097	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・市道は日常生活に必要なものであり、道路用地の確保は市民にとっては重要である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・生活に身近な市道の道路用地を確保することは、市として当然の義務であり実施する必要性は高い。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・市道用地の登記名義人の理解により達成率はあがってきている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・1筆あたりの登記費用が高く、職員の人件費も加えると費用は大きくなりつつある。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画に記載されている「すみよき」のあるまちなみを目指すため、生活に身近な道路用地を確保する事は必要であり、市道用地の適正な管理を行う事は重要性が高い。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題 (FA) 評価にするために何が必要なかを記入)	・個人名義となっている市所有の道路用地が非常に多く、現在の登記名義人の理解を得ることや、相続に関する課題等が多い。 ・各筆の境界確定のため道路用地名義人以外の関係者にも現地を立ち会って頂くことが必要であり、関係者全員の立会い協力について理解を得ることが難しい。
---	---

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。
-----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・名義人等各関係者に粘り強く説明し理解を得、1筆でも多く登記を完了する。
-----------------	--------------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・個人名義の市所有の道路がまだ非常に多いため、継続する必要がある。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	○ 拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3512
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1	社会教育総務費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	・地域ぐるみで花いっぱい運動を実践し、美しいまちづくりを推進する。 ・花いっぱい運動を通じて、地域住民のふれあいと地域コミュニティの醸成を図る。		
	事業の実施手法(手段)	・久々野地域全体へ花苗等を配布することにより、地域ぐるみでの花づくりを支援する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・久々野地域内の町内会へ花苗・肥料を配布 ・久々野地域内の公共施設へ花苗・肥料を配布					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	花苗配布数	株	目標値	16,176	15,994	15,000
		算出根拠等		実績値	16,176	15,994	-
	活動指標	花づくり講習会	回	目標値	1	1	1
		算出根拠等		実績値	1	1	-
	成果指標	地区花壇数	箇所	目標値	43	43	43
		算出根拠等		実績値	43	43	-
	成果指標	公共施設数	箇所	目標値	7	7	7
		算出根拠等		実績値	7	7	-
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-
				目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	1,175	1,415	1,200	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			1,175	1,415	1,200	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	301	370	318		
コスト指標	受益者	(B)	3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・花づくりを通じて、環境美化や住環境の向上につながるのと同時に、地域のつながりとコミュニケーションの場となるため、ニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動との関係を検討する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・地域全体が一緒に取り組むことにより、地域コミュニティの連帯感が高まっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・低コストで花苗を希望どおりの数を配布できるように工夫している。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・花づくりにより、地域を大切に社会づくりの実現に効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・同一事業の関連性の整理を行い、事業のあり方や一般予算への引き継ぎを行い、継続的した助成のあり方を検討する必要がある。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地域活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・各町内会へ花いっぱい運動の協力依頼(18町内会・7公共施設) ・申込者に花苗の配付(花苗:15,994株(5種類)、種子:12dl(1種類)) ・統一に向けての本庁との協議
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・環境美化の向上と地域コミュニティの向上により地域の絆が芽生えることから継続する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94699	久々野校区文化振興事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3512
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6	文化振興費		D	D その他事業	
	根拠計画	地域振興計画					
市長公約	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上を確保する。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・優れた芸術文化に触れる機会の充実と地域に根ざした芸術文化の振興を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・質の高い芸術文化の鑑賞など、地域が主体となって取り組めるよう支援する。 ・事業を継続的に実施し、地域住民への浸透を図り、文化活動の向上につなげる。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果 面	H24の実績	・桃源郷寄席「林家たい平独演会」(7月24日) ・石原詢子ふれあいコンサート(11月21日) ・文化展、芸術展(11月2日～4日) ・ふなやま川柳大会(8月15日)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動 指標	事業実施回数	回	目標値	10	10	10
				実績値	11	10	-
				算出根拠等	達成率(%)	110	100
	活動 指標	全事業の来場者数	人	目標値	7,900	5,350	4,600
				実績値	6,010	4,746	-
				算出根拠等	達成率(%)	76	89
	成果 指標	全事業の来場者数	人	目標値	7,900	5,350	4,600
				実績値	6,010	4,746	-
				算出根拠等	達成率(%)	76	89
				目標値			
				実績値			
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
実績値							
算出根拠等				達成率(%)			
補足事項							
・生涯学習意欲の向上のために、あらゆる機会の提供と鑑賞による文化振興への意識が高まっている。							
コスト 面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 3,000	2,500	2,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		3,000	2,500	2,000		
コスト 指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 768	654	530		
	受益者	久々野地域住民 (B)	3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・文化活動を地域住民に位置付ける機会となり、幅広いサークル活動や質の高い芸術文化に触れる機会となるので、ニーズが高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・生涯学習による豊かな心と活力のある地域を目指すためには、市の関与も必要である。 ・社教事業として事業は行われているが、財源的にも自立していく必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・地域住民の生涯学習活動のやる気の醸成という観点から、ある程度成果はある。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・自主財源の確保が図られてきている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・生涯学習活動による、生きがいづくりや地域への参加活動による効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・地域の自主事業としての事業展開と財源確保により、引き続きの事業実施が必要である。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・自主事業として、財源的にも自主財源の確保を図るよう進めている。
-----------------	----------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・地域の文化振興の向上による文化芸術に対する住民の生きがいづくりと交流の場の創出につながるので継続する。									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)		維持・改善		拡大	○	縮小		廃止の検討		H25完了予定
	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。									

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3512
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育総務費		D	その他事業	
	根拠計画	地域振興計画				
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	いつでも、どこでも、だれでもが気軽にスポーツに親しめるようにする。		
概要	事業の実施手法(手段)	ソフトボール大会、バレーボール大会、野球大会、スポーツフェスティバル、卓球大会、剣道大会、スキー大会		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・町民ソフトボール大会(6月3日) ・黒獅子旗野球大会(6月上旬) ・町民バレーボール大会(7月22日) ・町民対抗野球大会(8月20日) ・ふれあいソフトミニバレーボール大会(10月24日) ・スポーツフェスティル(11月3日) ・町民剣道大会(11月3日) ・町民卓球大会(12月16日) ・町民スキー教室(1月12日～14日) ・町民スキー大会(3月3日)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	スポーツイベント開催回数	回	目標値	13	13	13
				実績値	10	10	-
				算出根拠等	達成率(%)	77	77
	活動指標	スポーツイベント参加者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800
				実績値	2,104	2,007	-
				算出根拠等	達成率(%)	117	112
	成果指標	スポーツイベント参加者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800
				実績値	2,104	2,007	-
				算出根拠等	達成率(%)	117	112
				目標値			
				実績値			-
				算出根拠等	達成率(%)		
				目標値			
実績値						-	
算出根拠等				達成率(%)			-
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 350	350	300		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		350	350	300		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 90	92	80		
	受益者	久々野地域住民 (B)	3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域のコミュニケーションとスポーツに親しむきっかけづくりとなっており、ニーズは高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・スポーツを通じて活力のある地域づくりを目指すためには、市の関与も必要である。 ・社教事業として事業は行われているが、財源的にも自立していく必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	B	・地域住民のスポーツ活動でのやる気の醸成という観点から、ある程度成果はある。 ・子供や高齢者の多くの方にも参加してもらえるような種目選定の工夫が必要である。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・自主事業として、財源確保に努めている。 ・補助事業による内容の精査が必要である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・久々野地域の住民の体力向上と病気をしない体づくりのためには効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・地域の自主事業としての事業展開と財源確保により、引き続きの事業実施が必要である。
--	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・自主事業として、財源的にも自主財源の確保を図るよう進めている。
-----------------	----------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・スポーツを行うことによる体力の維持向上と地域コミュニティの活性化につながり、地域住民の交流の場にもつながることから継続する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	H25完了予定
	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20899	久々野支所横住宅管理事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3511
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	8	財産管理費		D	その他事業	
根拠計画							
市長公約	10	市民のための行政改革を実行します。 ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・久々野支所横住宅の管理を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	・久々野支所横住宅の解体を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績						
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
				達成率(%)			-
	算出根拠等			目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
	算出根拠等			実績値			-
				達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	1,217	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源					1,217	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)			323		
	受益者	久々野地域住民	(B)		3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価 対象 外	
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価 対象 外	
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価 対象 外	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価 対象 外	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価 対象 外	
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地域住民の安全と施設の有効活用のため久々野支所横住宅の解体を行う。
-----------------	------------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	21899	公有財産購入事業	担当課	久々野支所 地域振興課	内線
	種別				3511
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1 総務管理費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	8 財産管理費		D	その他事業
根拠計画					
市長公約					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・土地開発基金の適正な管理を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	・合併前に土地開発基金で取得した久々野中学校学校林用地の買戻しを行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績						
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	0	16,600	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源					16,600	
コスト 指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	4,402			
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,771			

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価 対象 外	
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価 対象 外	
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価 対象 外	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	評価 対象 外	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価 対象 外	
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外	点
----	---	---	--------	-------	---

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)	
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・土地開発基金保有地の買戻しを行う。
-----------------	--------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・他の土地開発基金公園用地についても計画的な買戻しが必要である。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域おこし協力員活用事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3512
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9	企画費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動を支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
概要	どういった状態にしたいのか(意図)	「地域おこし協力員」と地域団体が協働して地域おこし活動に取り組むことにより、地域の活性化と地域力の維持・向上を図る。		
	事業の実施手法(手段)	・農山村地域の活性化に対して意欲ある都市住民(若者等)を「地域おこし協力員」として委嘱する。 ・地域の受入団体と協働して、地域活動(体験メニュー支援、観光宣伝・誘客活動、特産品開発、イベント企画)に取り組む。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	「道の駅」の特産品や久々野地域の情報発信・・・Facebookの活用 ・販路拡大に向けた誘客宣伝・・・アンテナショップ等の活用 ・地元食材を活かした特産品の開発・・・「りんご大福」の開発 ・地域内への道の駅の周知と誘客活動・・・移動販売の実施 ・「道の駅」のイベント企画・・・特設販売コーナーの設置、久々野情報ボードの設置					
	指標名						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	販路拡大に向けた宣伝件数	件	目標値		3	2
				実績値		3	-
	活動指標	算出根拠等	件	達成率(%)		100	-
				目標値		2	2
	活動指標	情報発信のための媒体活用件数	件	実績値		2	-
				達成率(%)		100	-
	活動指標	移動販売回数	回	目標値		8	24
実績値					8	-	
活動指標	算出根拠等	回	達成率(%)		100	-	
			目標値		2	2	
活動指標	道の駅イベント企画数	件	実績値		2	-	
			達成率(%)		100	-	
成果指標	販路拡大(フレスポ)への来場者数	人	目標値		300	300	
			実績値		300	-	
成果指標	算出根拠等	人	達成率(%)		100	-	
			目標値			-	
成果指標	算出根拠等	人	実績値			-	
			達成率(%)			-	
補足事項							
自己のこれまでの経験や人脈を活用して、あらゆる宣伝媒体を利用することによる情報提供を行い、久々野地域への誘客活動を精力的に行っている。 ・Facebookによる世界への情報発信、地域内の各種団体からの講師養成や連携活動、りんごを活用した特産品開発のための地域内連携							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 2,141	2,640	3,200		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源		2,141	2,640	3,200		
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 548	691	849		
コスト指標	受益者		久々野地域住民 (B)	3,905	3,822	3,771	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	「地域おこし協力員」の存在が認知されてきたことにより、小中学校・保育園などから講演会の依頼や地域内の団体からも地域活性化に向けた相談が多い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・合併による地域の衰退は、市として取り組む重要課題であるので、市が積極的に関与する必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・Facebookなどの情報媒体を活用により、「道の駅」や久々野地域の情報発信が可能となった。 ・販路拡大のための「アンテナショップ等」の活用により、「道の駅」などの久々野地域の存在を高めることができた。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・特別交付税の対応が図られているので問題はない。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・合併による地域の衰退を防ぐための手法として、市長公約にもある「地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。」の活動に効果があった。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		9 / 10	→	100点換算 90 点

分析・評価で明らかになった課題 (「A」評価にするために何が必要なかを記入)

- ・協働団体である「道の駅」をはじめ、地元観光協会などの団体の協力による地域イベントの開催など、更なる地域活性化を進めるために「地域おこし協力員」を活用していく。
- ・「道の駅」の認知度を上げ、誘客増加を進めていく。

(参考) H24事業評価結果 (二次評価)

- ・活動目標を明確化するとともに活動拠点以外の地域での交流などにより地域との連携を強化する必要がある。

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・飛騨高山文化芸術祭こだまーれ2013「あらざ湖・今昔物語」の開催による久々野地域への誘客と久々野自慢の掘り起こしを図る。 ・「移動販売」の継続と特産品を使った新商品の開発を進める。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H25完了予定

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	53199	地域生活道路環境保全事業(林道分)	担当課	久々野支所 基盤産業課	内線
種別	1	一般会計			3531
予算	会計	1	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	5		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	3		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1	O	D	その他事業
根拠計画	地域振興計画				
市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ◎次代につながる農業を実現します ・農業生産額250億円目指します。			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域間を結ぶふるさと林道は地域住民の重要な道路となっており、交通安全上道路幅を確保するため除草を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	・(公社)高山市シルバー人材センターへ清掃草刈り業務を委託する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・実施路線(無数河線・舟山～牛牧線・阿多粕～西洞線)					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	林道除草施工延長	m	目標値		25,157	29,764
				実績値		25,157	-
	算出根拠等	実施済施行延長	達成率(%)		100	-	-
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
実績値							
算出根拠等		達成率(%)					
		目標値					
算出根拠等		実績値					
		達成率(%)					
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	920	1,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			920		1,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)		241	265		
コスト指標	受益者	(B)		3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・道路の景観保全や交通事故防止のため、ニーズは非常に高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・地域間を結ぶ幹線林道で延長が長く、地域や利用者での自主的な維持管理はなかなかできない状況であるため、市で実施する。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・毎年計画のとおり実施し目的を達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・生活道路環境や景観保全、交通事故防止という目的からコストは概ね適正である。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・安全で快適な林道環境を保ち、久々野地域住民の安全な生活を支えることができる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	10 / 10	→	100点換算	100 点
----	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・安全な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり今後も引き続き事業継続に努める。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。
-----------------	----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・農道や市道を含め地域住民がすべてを維持管理することができないため継続は必要である。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	62499	位山舟山自然公園環境整備事業		担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	3531
予算	会計	1	一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	観光費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	自然公園費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・位山、あららぎ湖、船山を一体とする自然公園を整備し、市民や観光客などが活用できるものとする。		
概要	事業の実施手法(手段)	・船山及びあららぎ湖登山道整備(草刈り・木橋・案内看板修繕等)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・船山頂花木園整備(草刈り)／花木園管理棟解体／花木園施設修繕(看板設置等) ・あららぎ湖展望位山登山道整備／登山道案内看板設置 ・アルコピアスキー場安全ネット等撤去					
	指標名						
		単位	目標・実績	H23	H24	H25	
	活動指標	登山道整備(草刈り)延長	m	目標値		3,100	9,100
		算出根拠等	草刈り済延長	実績値		3,100	-
				達成率(%)	100	-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	0	13,349	3,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			13,349		3,000	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)		144	33		
	受益者	(B)	全市民	92,861	92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・登山を趣味とする方々が年々増加し、船山などの軽登山に人気が出てきているため、整備は必要。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市で整備した登山道であるため、市での維持管理が必要。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・計画どおり、目的を達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・効率的に実施している。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・位山、あららぎ湖、船山を一体とした自然公園を整備することにより、来場者が増加し、地域の活性化に繋がる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	10 / 10	→	100点換算	100 点
----	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・登山道は毎年の整備が必要となるため、事業継続に努める必要がある。
---------------------------------------	-----------------------------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	
-------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・快適な登山を楽しんでいただくため、整備に努める。
-----------------	---------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・登山道は毎年の整備が必要となるため、事業継続に努める必要がある。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	72399	市道改良事業		担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	3541
予算	会計	1	一般会計	特別 予算 の 位置 づけ	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	道路橋りょう費		O	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	道路新設改良費		D	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進みます。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・災害時の指定避難所である久々野中学校までの最短道路確保及び地域間の連絡道路を整備する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・コスト削減を踏まえた舗装をする。(舗装工事 全体延長 L=724m A=2, 465㎡)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	舗装工事 施工延長 L=337m A=1, 180㎡					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	舗装新設	㎡	目標値	735	1,180	550
				実績値	735	1,180	-
	算出根拠等	延長	達成率(%)	100	100	-	
			目標値				
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
	算出根拠等		目標値				
			実績値			-	
			達成率(%)			-	
			目標値				
	算出根拠等		実績値			-	
			達成率(%)			-	
			目標値				
実績値					-		
算出根拠等		達成率(%)			-		
		目標値					
		実績値			-		
		達成率(%)			-		
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 3,255	4,935	4,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		3,255	4,935	4,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 834	1,291	1,061		
	受益者	久々野地域住民	(B) 3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・生活道路であるため市民のニーズは非常に高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・道路管理者である市が実施する。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・実施区間は予定通り行われている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・コスト削減を踏まえた舗装工事を実施。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・計画に基づき実施。まだ全線開通していないため交通量は微増となっている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	10 / 10	→	100点換算	100 点
----	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・現在7割程度の進捗であるが、交通量は微増であるため計画区間の早期完成が必要となる。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	
-------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・計画区間を速やかに実施する。
-----------------	-----------------

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	74699	地区公園整備事業		担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	3540
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	都市計画費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6	公園管理費		D	その他事業	
根拠計画							
市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全に幼児が利用できる公園がないため、現在ある公園を改修する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・現在設置されている老朽化した遊具や施設の修繕を行い、周囲に安全フェンスを設置するとともに幼児等利用しやすいトイレの改修工事を行う。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績						
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	公園面積(桃源郷公園)	㎡	目標値			1,500
		算出根拠等	公園面積	実績値			-
	成果指標	公園利用者数(桃源郷公園 期間10~11月)	人	目標値			1,267
		算出根拠等	1週144人(平日80人土日64人)*4週*2か月*1.1	実績値			-
				目標値			-
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			-
		算出根拠等		実績値			-
				目標値			-
		算出根拠等		実績値			-
	補足事項						
	コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
		歳出(千円)		(A)	0	0	5,000
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源					5,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)			54		
	受益者	全市民	(B)		92,097		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	評価対象外	H25新規事業
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	評価対象外	H25新規事業
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	評価対象外	H25新規事業
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	/	→	100点換算	評価対象外 点
----	---	---	--------	---------

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	92299	地域小学校教育振興事業 (五ヶ所小学校交流推進事業)		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3511
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2	小学校費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2	教育振興費		O	その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・山村地域と沿岸地域という両地域の特性を生かした交流活動を行い、各種体験を通して、友情を深め感謝の気持ちや満足感などを感じるにより、自覚をもちながら自ら考える力を育てる。		
概要	事業の実施手法(手段)	・夏の交流は、五ヶ所小学校を訪れ、地引網による漁業体験やカッター、小型ヨットなどに乗り海上体験を行い沿岸地域の生活様式などを学ぶ。 ・冬の交流はアルコピアスキー場において、そりやスキーなどの雪上体験や冬季の山村の生活様式を紹介し一緒に体験することで郷土を大切にすることを育む。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・夏の交流は、南伊勢町でヨット体験、干物づくり、ミカン栽培やキャンパンファイヤー等の体験。冬の交流会ではアルコピアスキー場でスノーモービル体験やスキーを教えたりそり遊びを行い友情を深めた。沿道でお迎え看板を作成し出迎えたり、地域団体の協力により雪上体験など学校だけでなく久々野町と南伊勢町の地域ぐるみの交流を行った。					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	参加人員	人	目標値	49	60	36
				実績値	49	60	-
	成果指標	参加率	%	目標値	100	100	100
				実績値	100	100	-
	算出根拠等	参加児童数/小学校5年生児童数	達成率(%)	100	100	-	
			算出根拠等	参加実績率/参加目標率	達成率(%)	100	100
	算出根拠等		目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
	算出根拠等		実績値			-	
			達成率(%)			-	
	算出根拠等		目標値				
実績値					-		
算出根拠等		達成率(%)			-		
		目標値					
算出根拠等		実績値			-		
		達成率(%)			-		
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 620	653	700		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		620	653	700		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 159	171	186		
	受益者		(B) 3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・5年生が主体となって企画を行いPTAが運営委員会を組織し補助し交流活動が実施されており、30年以上続いている事業である。その伝統を引き継ぎ後世に伝えたいという要望が多くある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・他地域の学校と交流することで生活環境の違いを実感できる貴重な体験ができる。この事業は地域や行政の支援が必要である。 ・市内全体の交流状況から実施方法の見直しの検討は必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・児童が自主的に交流計画を企画し、PTAが交流活動を支援し参加もしている。6年間の学校生活の中で大きな意識を持つ事業となっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・長年続いている交流事業として一部に補助金を充てている。事業内容の整理、見直しを行い、自主運営に向けた検討を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・他地域の学校と交流することで生活環境の違いを感じ仲間との連携や協調により友情を深め郷土愛を育む教育に結びついている。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にすることを必要とするかを記入)	・実行委員会では長年続いている五ヶ所小学校交流事業を強く望んでおり、積立金等を行い自主運営ができる事業になるよう検討している。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・平成26年度より南伊勢町の4小学校が統合することにより五ヶ所・久々野小学校間交流は終了する。 ・自主運営に向けての財源確保のための積立金は継続する。
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定
	・地域振興の一環として交流会を継続したいという希望は相互にあるが、今まで同様の方法で継続することは難しいので事業内容を検討する。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	<input type="radio"/>	H25完了予定

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業(農道分)	担当課	久々野支所 基盤産業課	内線
	54199				3531
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	5 農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	4 農業土木費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1 農業土木総務費		O	D その他事業
根拠計画	地域振興計画				
市長公約	3	産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します ◎次代につながる農業を実現します ・農業生産額250億円を目指します。			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・広域営農団地農道は、飛騨農林事務所より管理移管を受け、高山市が管理することになっている。交通安全上片側一車線の道路幅を確保しなければならないため農道の除草をする。		
概要	事業の実施手法(手段)	・(公社)高山市シルバー人材センターへ草刈り清掃業務を委託する。(広域営農団地農道 11.473m)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・広域営農団地 大坊～有道 草刈り清掃区間 11.473m					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	農道除草延長	m	目標値	11,473	11,473	11,473
				実績値	11,473	11,473	-
	算出根拠等	実施済除草えん長	達成率(%)	100	100	-	-
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
実績値							
算出根拠等		達成率(%)					
		目標値					
算出根拠等		実績値					
		達成率(%)					
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 439	420	500		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		439	420	500		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 112	110	133		
	受益者	久々野地域住民	(B) 3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・道路の景観保全や交通事故防止のため、ニーズは非常に高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・地域間を結ぶ幹線農道で延長が長く、地域や利用者での自主的な維持管理はなかなかできない状況であるため、市で実施する。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・毎年計画のとおり実施し目的を達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・生活道路環境や景観保全、交通事故防止という目的からコストは概ね適正である。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・安全で快適な農道環境を保ち、久々野地域住民の安全な生活を支えることができる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	10 / 10	→	100点換算	100 点
----	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・安全な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり今後も引き続き事業継続に努める。
---------------------------------------	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。 ・他の事業との関係の整理、助成のあり方などについて検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。
-----------------	----------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・林道や市道を含め地域住民がすべてを維持管理することができないため継続は必要である。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業(市道分)	担当課	久々野支所 基盤産業課	内線
	72299				3541
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	7 土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	2 道路橋りょう維持費		O D	その他事業
根拠計画	地域振興計画				
市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・久々野地域の町内会と町内会を結ぶ市道について、地域住民に草刈りをお願いしているが施工延長が長く、地元町内会ではなかなか出来ない現状である。交通事故防止や景観保全のため草刈り清掃を実施する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・(公社)高山市シルバー人材センターへ草刈り清掃業務を委託する。(市道平野線他5路線 L=13,340m A=32,000m)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	市道平野線他5路線 L=13,340m A=32,000m ²					
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	市道除草延長	m	目標値	13,340	13,340	13,340
				実績値	13,340	13,340	-
	算出根拠等	実施済除草延長	達成率(%)		100	100	-
			目標値				
	算出根拠等		実績値				-
			達成率(%)				-
	算出根拠等		目標値				-
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
		目標値					
算出根拠等		実績値				-	
		達成率(%)				-	
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A) 512	820	1,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源		512	820	1,000		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 131	215	265		
	受益者	久々野地域住民 (B)	3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・道路の景観保全や交通事故防止のため、ニーズは非常に高い。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市が管理する道路であり、生活道路の環境保全からも重要性は高い。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・毎年計画のとおり実施し目的を達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・生活道路環境や景観保全、交通事故防止という目的からコストは概ね適正である。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・安全で快適な市道環境を保ち、久々野地域住民の安全な生活を支えることができる。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	10 / 10	→	100点換算	100 点
----	---------	---	--------	-------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・安全で快適な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり、今後も引き続き事業継続に努める必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、特例期間終了後は全市的に実施路線を検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・安全な通行を確保するため、道路の環境整備に努める。
-----------------	----------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・林道や農道を含め地域住民がすべてを維持管理することができないため、継続は必要である。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	21099	地域市民活動推進事業 (ふるさと交流事業)		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3511
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 予算 の 目	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	10	市民活動推進費		O	D その他事業	
根拠計画	地域振興計画						
市長公約	合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします ・地域の特性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合っており取り組む活動を支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	・三重県南伊勢町との市民相互の地域イベントや伝統芸能の披露など、交流事業を通して住民同士の世代を超えて交流を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・久々野地域における活性化イベント(ひだ桃源郷収穫劇場)への出店、南伊勢町の伝統芸演技披露、住民の受入。 ・南伊勢町の地域イベントにおける久々野特産品の販売、PRや伝統芸能の披露派遣。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・平成24年10月6日(土)の受入事業には南伊勢緒から18人が来町され、歓迎交流会を開催。翌7日(日)「ひだ桃源郷収穫劇場2012」に海産物販売等により久々野地域関係者及び住民との交流を深めることができた。また、南伊勢町「ふれあい市」へ参加し岐阜県郷土工芸品の小屋名しようけの実演、有道しゃくしの展示を行うとともに久々野地域の特産品の販売、PRを行った。イベント前日には行政、観光協会関係者等の歓迎交流会が開催され交流を深めた。					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	参加人員	人	目標値	25	25	25
		算出根拠等	参加人員/計画参加人員	実績値	16	13	-
	成果指標	実行委員会参加率	%	目標値	20	20	20
		算出根拠等	実行委員会参加人数/実行委員会構成人数	実績値	3	4	-
		算出根拠等		達成率(%)	15	20	-
		算出根拠等		目標値			
		算出根拠等		実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
		算出根拠等		目標値			
		算出根拠等		実績値			-
		算出根拠等		達成率(%)			-
		算出根拠等		目標値			
		算出根拠等		実績値			-
算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	300	149	280	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		300	149	280		
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	77	39	74		
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,905	3,822	3,771	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・参加者の小学校時代から続いている交流であり、伝統を引き継ぐとともに地域特産品のアンテナショップとしての効果もありニーズはある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・市民相互の伝統芸能や地域イベントを実施することで、住民同士が世代を超えて交流できる。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・観光都市「飛騨高山」を南伊勢町全体にPRし、イベントや伝統芸能の披露を通じ交流の輪を広げることができた。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・補助金の対象となる経費について精査し補助金額を決定した。1人当たりのコストを見直しながら実施しており適正である。
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	B	・住民相互の交流により地域が活性化するとともに久々野地域特産品の普及と販売の向上に効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	5 / 10	→	100点換算	50 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・観光都市「飛騨高山」及び地域ブランドPRには効果があったが、人的交流の部分を中心に検討するとともに参加人員を増やすことにより目的達成や費用効果を高める必要がある。
--	--

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・引き続き地域に根付いた交流が続けられるよう、補助金に頼らず自主的運営に向けた取り組みを段階的に進めていく必要がある。 ・特定期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・参加人員の増加をめざし人的交流の幅を広げ補助金に頼る運営でなく、平成25年度中に事業実施に向けた方針を実行委員会と検討している。
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	H25完了予定
	・双方の実行委員会が企画調整し実施している事業であるが、今までの実施方法では継続は難しいことから、地域行事に合わせた希望者による事業とし廃止を検討する。					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	○	廃止の検討	H25完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	94699	ふるさと名人継承事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3512
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6	文化振興費		O	その他事業	
	根拠計画	地域振興計画					
市長公約	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上を確保する。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	「小屋名しようけ」「有道しゃくし」の技術の普及と後継者の育成を行い、後世に引き継いでいく。		
概要	事業の実手法(手段)	・講習会を実施する。(10回)		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	「小屋名しようけ」:10月から3月までに10回の講習会を開催 「有道しゃくし」:10月から3月までに10回の講習会を開催																																																																																																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">活動指標</td> <td rowspan="3">受講申込者数(小屋名しようけ)</td> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>120</td> <td>120</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動指標</td> <td rowspan="3">受講申込者数(有道しゃくし)</td> <td>目標値</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動指標</td> <td rowspan="3">継続受講申込者数</td> <td>目標値</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>73</td> <td>53</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果指標</td> <td rowspan="3">新規受講申込者数</td> <td>目標値</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>133</td> <td>120</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果指標</td> <td rowspan="3">修了証交付者数(小屋名しようけ)</td> <td>目標値</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>93</td> <td>73</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果指標</td> <td rowspan="3">修了証交付者数(有道しゃくし)</td> <td>目標値</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>算出根拠等</td> <td>達成率(%)</td> <td>63</td> <td>75</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="6">補足事項</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コスト面</td> <td colspan="2">事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)</td> <td>H23 決算額</td> <td>H24 決算額</td> <td>H25 予算額</td> </tr> <tr> <td colspan="2">歳出(千円)</td> <td>(A) 167</td> <td>165</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担(使用料・負担金等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源(国・県支出金・起債等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般財源</td> <td>167</td> <td>165</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>コスト指標</td> <td>受益者1件当たり(円)</td> <td>(A/B) 2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コスト指標</td> <td>受益者</td> <td>全市民</td> <td>(B) 93,312</td> <td>92,861</td> <td>92,097</td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	受講申込者数(小屋名しようけ)	目標値	20	20	20	実績値	24	24	-	算出根拠等	達成率(%)	120	120	-	活動指標	受講申込者数(有道しゃくし)	目標値	10	10	10	実績値	7	7	-	算出根拠等	達成率(%)	70	70	-	活動指標	継続受講申込者数	目標値	15	15	15	実績値	11	8	-	算出根拠等	達成率(%)	73	53	-	成果指標	新規受講申込者数	目標値	15	15	15	実績値	20	18	-	算出根拠等	達成率(%)	133	120	-	成果指標	修了証交付者数(小屋名しようけ)	目標値	15	15	15	実績値	14	11	-	算出根拠等	達成率(%)	93	73	-	成果指標	修了証交付者数(有道しゃくし)	目標値	8	8	8	実績値	5	6	-	算出根拠等	達成率(%)	63	75	-	補足事項						コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	歳出(千円)		(A) 167	165	220	受益者負担(使用料・負担金等)					その他特定財源(国・県支出金・起債等)					一般財源		167	165	220	コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2	2	2	コスト指標	受益者	全市民	(B) 93,312	92,861	92,097
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																																																																											
	活動指標	受講申込者数(小屋名しようけ)	目標値	20	20	20																																																																																																																																											
			実績値	24	24	-																																																																																																																																											
			算出根拠等	達成率(%)	120	120	-																																																																																																																																										
	活動指標	受講申込者数(有道しゃくし)	目標値	10	10	10																																																																																																																																											
			実績値	7	7	-																																																																																																																																											
			算出根拠等	達成率(%)	70	70	-																																																																																																																																										
	活動指標	継続受講申込者数	目標値	15	15	15																																																																																																																																											
			実績値	11	8	-																																																																																																																																											
			算出根拠等	達成率(%)	73	53	-																																																																																																																																										
	成果指標	新規受講申込者数	目標値	15	15	15																																																																																																																																											
			実績値	20	18	-																																																																																																																																											
			算出根拠等	達成率(%)	133	120	-																																																																																																																																										
	成果指標	修了証交付者数(小屋名しようけ)	目標値	15	15	15																																																																																																																																											
			実績値	14	11	-																																																																																																																																											
			算出根拠等	達成率(%)	93	73	-																																																																																																																																										
	成果指標	修了証交付者数(有道しゃくし)	目標値	8	8	8																																																																																																																																											
			実績値	5	6	-																																																																																																																																											
算出根拠等			達成率(%)	63	75	-																																																																																																																																											
補足事項																																																																																																																																																	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																																																																												
	歳出(千円)		(A) 167	165	220																																																																																																																																												
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																																																																																
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																																																																																
	一般財源		167	165	220																																																																																																																																												
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2	2	2																																																																																																																																													
コスト指標	受益者	全市民	(B) 93,312	92,861	92,097																																																																																																																																												

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・久々野地域以外の住民からの受講申込みも多く、新規受講者も多いので、市民ニーズはある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・保存会の存在があるが、後継者の高齢化が進み継承活動ができなくなるので、市としても、重要な伝承芸術であるので、後世へ引き継ぎ、技術を残すためには支援が必要である。 ・この事業を通して、保存会としての加入促進を進めて、保存会活動へとつなげる必要がある。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・継続受講者をはじめ、新規受講者も多くあり、伝承芸術の継承には成果があがっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	A	・材料費などの必要最低限の経費で、多くの受講者を受け入れている。
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	B	・伝統芸能を後世に引き継ぐという観点から、文化資源を活かした地域づくりにおいて効果がある。
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・保存会の自主的な活動に向けた方向性が必要である。
---------------------------------------	---------------------------

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・価値について検証する必要がある。
----------------------	-------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・技術伝承者を保存会に加入してもらうために、優秀な伝承者の掘り起こしと加入の意思確認などのためのアンケートを実施するなどして保存会との協議を行う。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・伝統技術の継承は、先代の知恵と技術を受け継ぎ、後世に引き渡す使命であり、更には、郷土への愛着を持ち続けることができるものであることから重要な事であるので継続する。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H25完了予定
	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3511
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9	企画費		O	その他事業	
根拠計画							
市長公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	・地域住民が自分たちの地域を自分たちの手でより良くしていく活動に対し支援する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・地域の人材や労力を活用し、助言や経費などを支援することにより、生活環境などを整備する。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	・安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業 22団体 ・特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業 16団体					
	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25
	活動指標	申請数	件	目標値	40	40	40
		実績値			31	38	-
		算出根拠等	申請数	達成率(%)	78	95	-
	成果指標	補助件数	件	目標値	40	40	40
		実績値			31	38	-
		算出根拠等	補助実績数	達成率(%)	78	95	-
	成果指標	補助金交付率	%	目標値	95.0	95.0	95.0
		実績値			87.8	84.4	-
		算出根拠等	予算執行額/予算額	達成率(%)	92.4	88.8	-
				目標値			
				実績値			
		算出根拠等		達成率(%)			
				目標値			
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足事項							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額		
	歳出(千円)		(A)	6,147	6,327	7,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			6,147	6,327	7,500	
コスト指標	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,574	1,655	1,989		
	受益者	(B)	3,905	3,822	3,771		

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・地域住民が所属自治会などを中心に活動し、地域の住環境整備やコミュニティ意識強化の一環になっているため、住民からの強いニーズがある。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	B	・市民が安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業を支援することは、地域活動を育成するために必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・申請団体の活動に対する参加者も増えてきており、住環境整備のみならず地域振興的な内容も見られるようになっている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・計画に対し、支所から申請者に助言し内容精査を行っている。 ・住民が自ら事業内容を検討しコストが適正か確認している。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・地域住民が自主的に住みやすい環境づくりに貢献することは、地域社会の育成に効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・市民が安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業を支援することは、地域社会活動を育成するために必要である。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・「安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業」については、12団体が実施中。 ・「特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業」については、5団体が実施中。
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・市民が安心して暮らせる地域を守るため引き続き、「安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業」及び、「特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業」を継続する。				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> H25完了予定
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業		担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3511
予算	会計	1	一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1	総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9	企画費		O	D その他事業	
根拠計画							
市長公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の個性を伸ばします						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域の要望に対して早急に対応を行い地域の環境整備を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・地域の要望により市道や農道、水路等の軽微な修繕を実施。		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	市道修繕(16件)、河川修繕(1件)、公共施設修繕(4件)、市道倒木除去(1件)、排水路修繕(2件)、消防水利修繕(1件)																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>目標・実績</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動指標</td> <td rowspan="2">要望事項受付数</td> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標</td> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td>要望事項受付数/要望事項受付目標数</td> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>125</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>要望事項実施数</td> <td>目標値</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2">実施数/要望事項実施目標数</td> <td>実績値</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td>100</td> <td>125</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">算出根拠等</td> <td rowspan="2"></td> <td>達成率(%)</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	活動指標	要望事項受付数	目標値	20	20	20	実績値	20	25	-	成果指標	算出根拠等	要望事項受付数/要望事項受付目標数	達成率(%)	100	125	-	要望事項実施数	目標値	20	20	20	算出根拠等	実施数/要望事項実施目標数	実績値	20	25	-	達成率(%)	100	125	-	算出根拠等		目標値				実績値			-	算出根拠等		達成率(%)			-	目標値				算出根拠等		実績値			-	達成率(%)			-	算出根拠等		目標値				実績値			-	算出根拠等		達成率(%)			-
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25																																																																																				
	活動指標	要望事項受付数	目標値	20	20	20																																																																																				
			実績値	20	25	-																																																																																				
	成果指標	算出根拠等	要望事項受付数/要望事項受付目標数	達成率(%)	100	125	-																																																																																			
			要望事項実施数	目標値	20	20	20																																																																																			
	算出根拠等	実施数/要望事項実施目標数	実績値	20	25	-																																																																																				
			達成率(%)	100	125	-																																																																																				
	算出根拠等		目標値																																																																																							
			実績値			-																																																																																				
	算出根拠等		達成率(%)			-																																																																																				
			目標値																																																																																							
	算出根拠等		実績値			-																																																																																				
			達成率(%)			-																																																																																				
算出根拠等		目標値																																																																																								
		実績値			-																																																																																					
算出根拠等		達成率(%)			-																																																																																					
		補足事項																																																																																								
・地域住民からの要望を精査し関係課と協議し予算執行できるよう調整している。																																																																																										
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額																																																																																					
	歳出(千円)		(A) 11,481	7,890	7,100																																																																																					
	受益者負担(使用料・負担金等)																																																																																									
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																																																																																									
	一般財源		11,481	7,890	7,100																																																																																					
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 2,940	2,064	1,883																																																																																					
	受益者		(B) 久々野地域住民	3,905	3,822	3,771																																																																																				

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・地域から提出される事業要望は、昨年度と同様な事業量である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・地域の要望により市道や水路等の公共施設の修繕が実施されることは、施設の延命化につながる。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	A	・要望の件数は多く、精査を行って実施しており、地域からの要望はおおむね達成している。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・要望事項については、地域内で検討し地域内で対応できる事業と市が実施する事業に分けるよう検討をしている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・地域からの要望があった軽微な修繕工事を早期に対応しており、地域の環境整備に効果がある。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・市道や施設等を良好な状態に保ち、市民が安心して安全に暮らせる地域を築くために継続する必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・町内からの要望書をとりとまとめ、現地調査により実施箇所を検討した上で事業実施している。
-----------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・市道や施設等を良好な状態に保ち、市民が安心して安全に暮らせる地域を築くために継続する必要がある。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="checkbox"/> H25完了予定
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。				

平成25年度事業評価シート(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料		担当課	久々野支所 地域振興課		内線 3511
	種別					
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款			O	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項				C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目				D その他事業	
根拠計画						
市長公約						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	対象者数	3,771 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	久々野地域の公共施設維持のための土地の借上げ		
概要	事業の実施手法(手段)	久々野地域の公共施設を維持運営するため、旧久々野町時代から民間から借り上げている土地の中で高山市の借上げ基準を上回る物件についての借上げ		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24の実績	<ul style="list-style-type: none"> アルコピアスキー場土地 駅駐輪場 堂之上遺跡看板用地 久々野診療所及び久々野東部診療所 				
	指標名					
	成果指標	単位	目標・実績	H23	H24	H25
			目標値	5	5	5
	算出根拠等	件	実績値	0	0	-
			達成率(%)	0	0	-
	算出根拠等		目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
	算出根拠等		実績値			-
			達成率(%)			-
	算出根拠等		目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
目標値						
算出根拠等		実績値			-	
		達成率(%)			-	
補足事項						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	
	歳出(千円)		(A) 5,295	5,273	5,299	
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		5,295	5,273	5,299	
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 1,356	1,380	1,405	
	受益者 久々野地域住民 (B)		3,905	3,822	3,771	

3 分析・評価(Check) ※平成24年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・公共施設として地域住民が利用しており、維持運営するための土地借上げは必要である。
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・公共施設として地域住民が利用しており、維持運営するための土地借上げは必要である。
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・目標値の達成に向けて、地権者と条件や期間など高山市の基準に近づくよう粘り強く交渉を行っている。
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・地権者と条件や期間など高山市の基準に近づくよう粘り強く交渉を行っている。
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・総合計画に基づく市民のための施設を維持運営するためには必要であり、効果はあった。
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・地権者と条件や期間などについて粘り強く交渉し、高山市の基準に近づくよう交渉していく。
---------------------------------------	---

(参考) H24事業評価結果(二次評価)	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
----------------------	----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・地権者と条件や期間などについて粘り強く交渉し、高山市の基準に近づくよう交渉していく。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・公共施設として地域住民が利用しており、維持運営するための土地借上料は必要である。				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	H25完了予定
	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。				